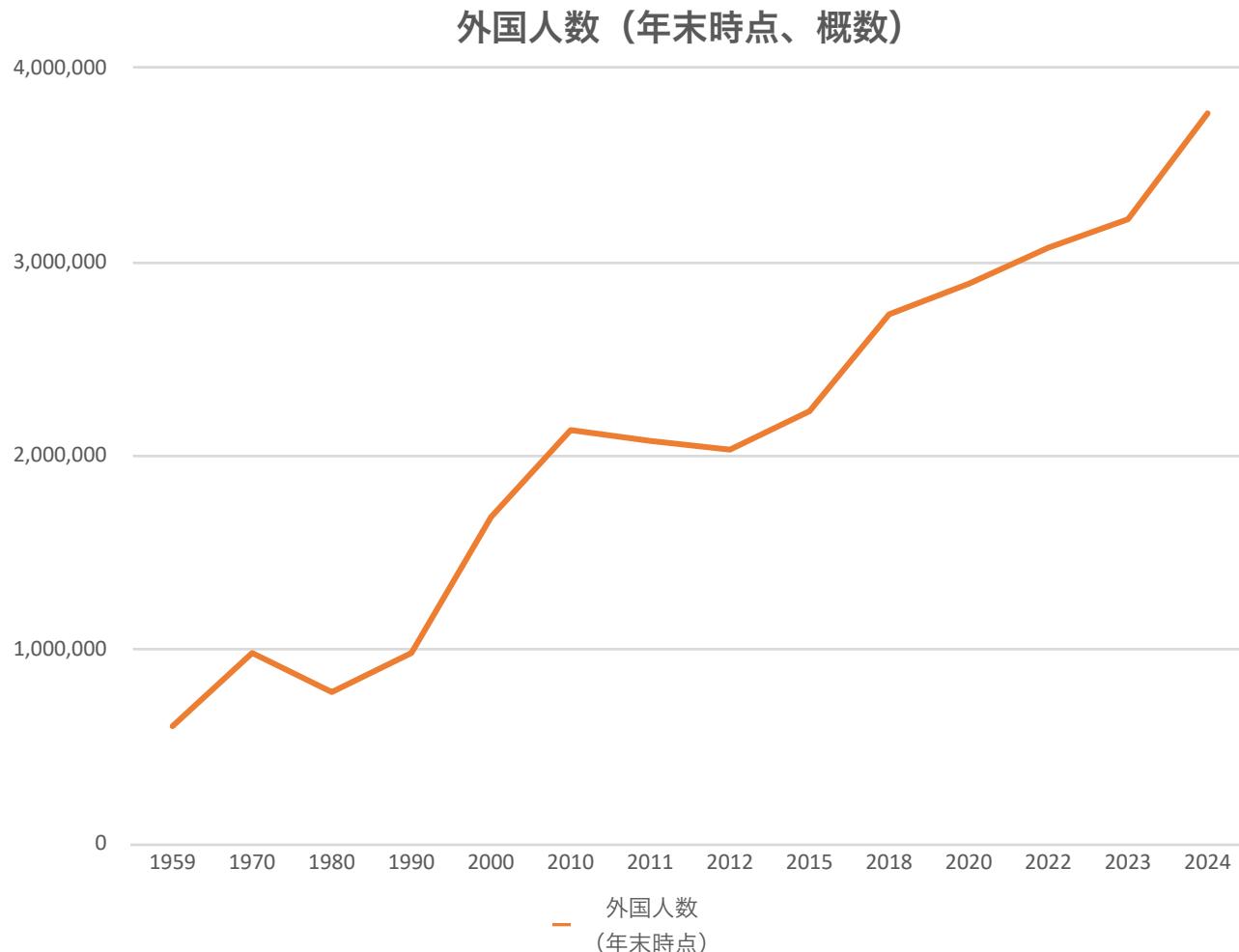


日本の治安・交通安全は
外国人の増加によって
悪化しているか？

外国人数の推移

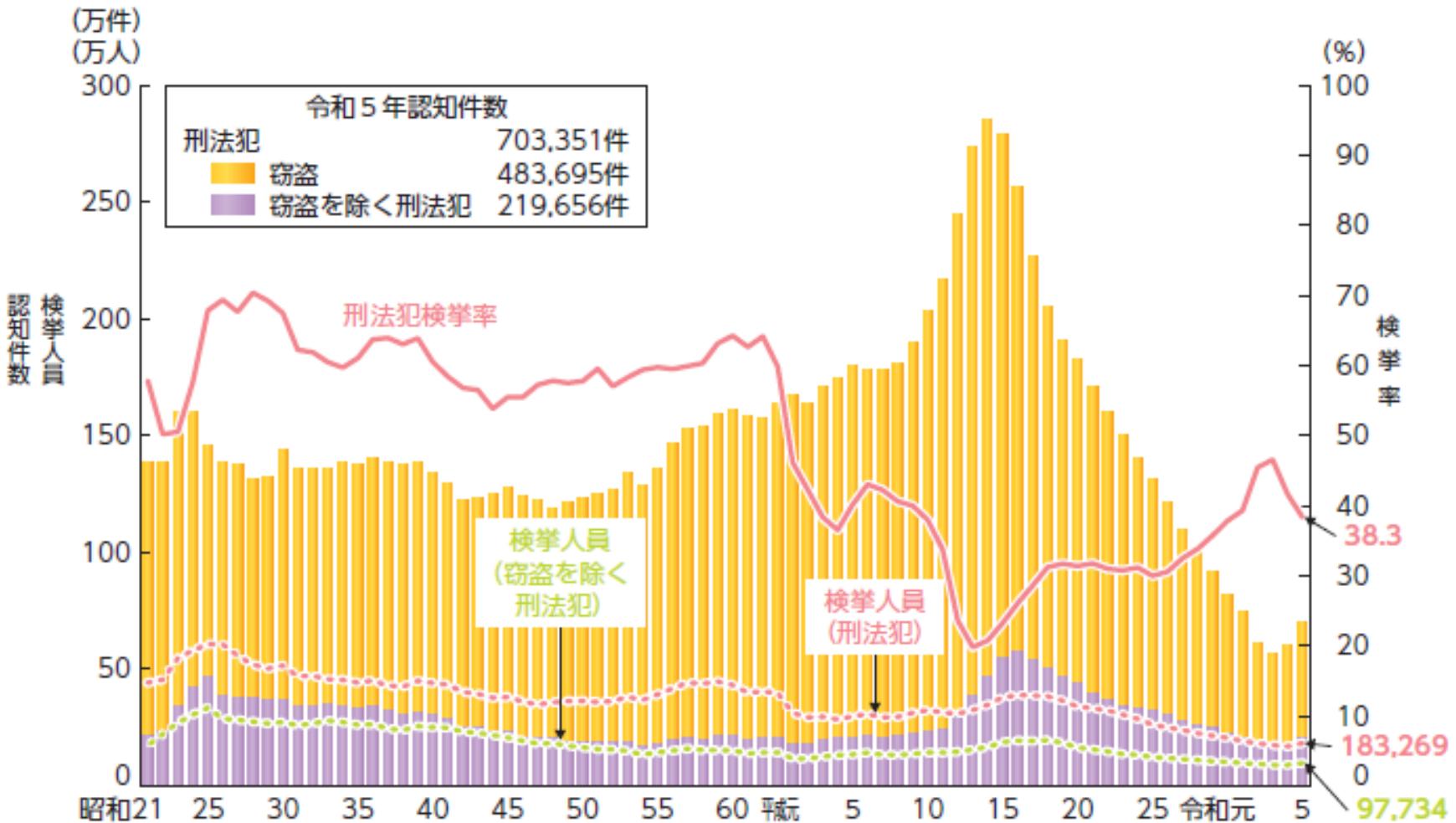


1959～2011年：法務省「登録外国人統計」

2012年以降：出入国在留管理庁「在留外国人数」

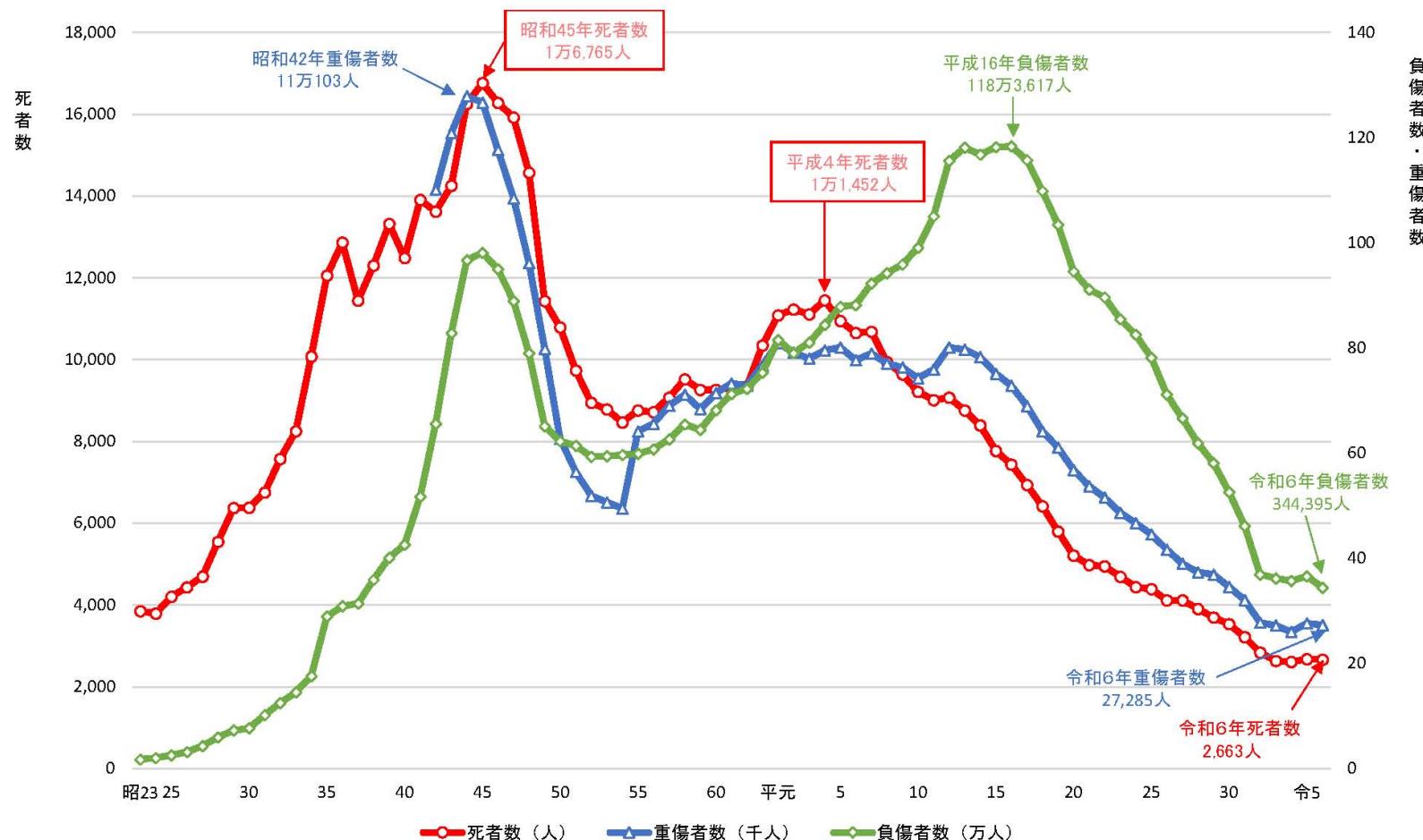
(昭和21年～令和5年)

① 刑法犯

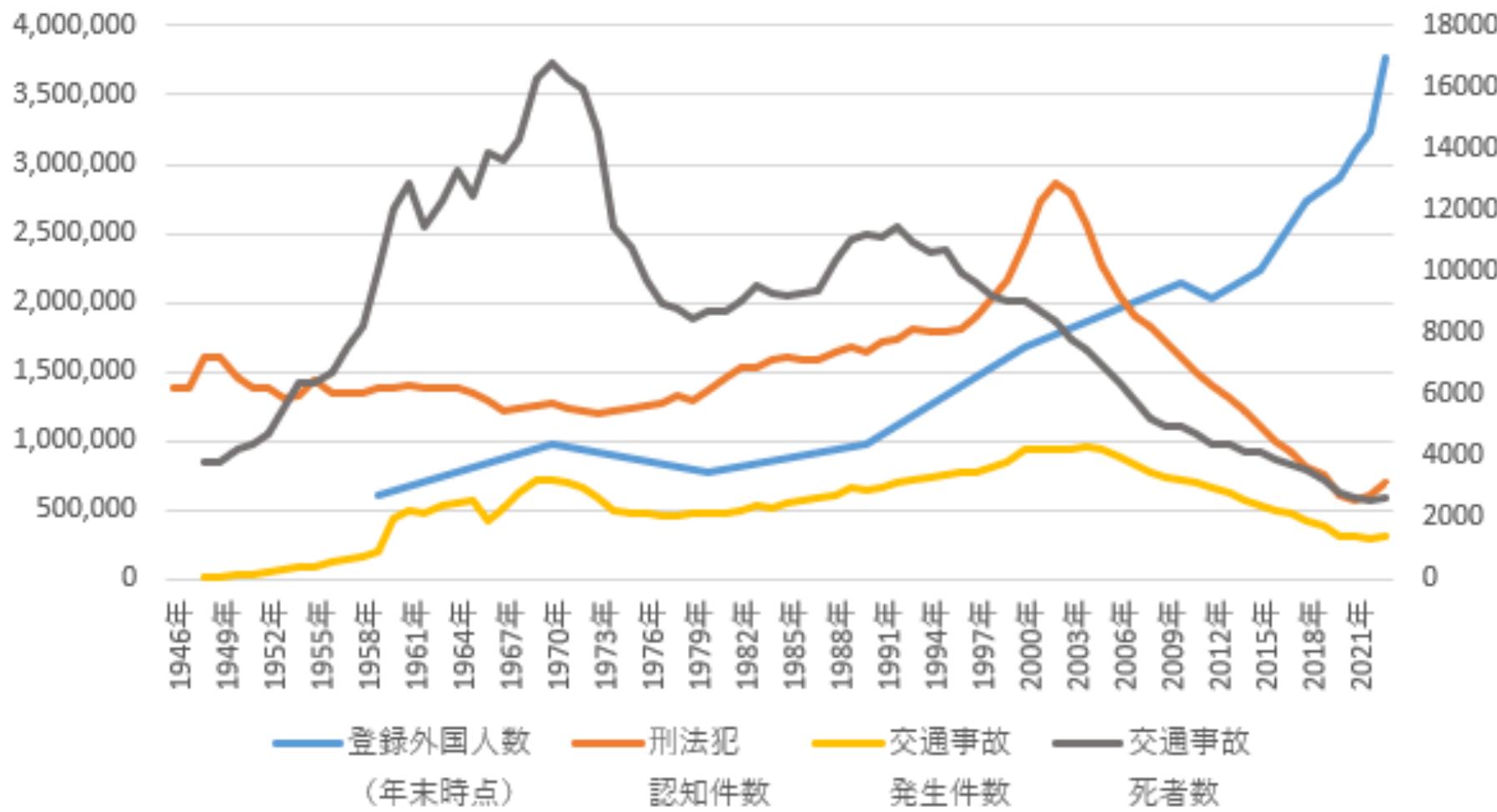


1 交通事故発生状況の推移(死者数・重傷者数・負傷者数)

- 令和6年中の死者数は2,663人で、前年比15人、0.6%減
- 令和6年中の重傷者数は27,285人で、前年比351人、1.3%減



登録外国人数と 刑法犯認知件数 交通事故発生件数 交通事故死傷者数 の推移



外国人の犯罪率はどうだろうか？

〈連載〉 統計から読み解く移民社会④

外国人が増加すると治安が悪化するのか？ 犯罪統計による検証

是川 夕

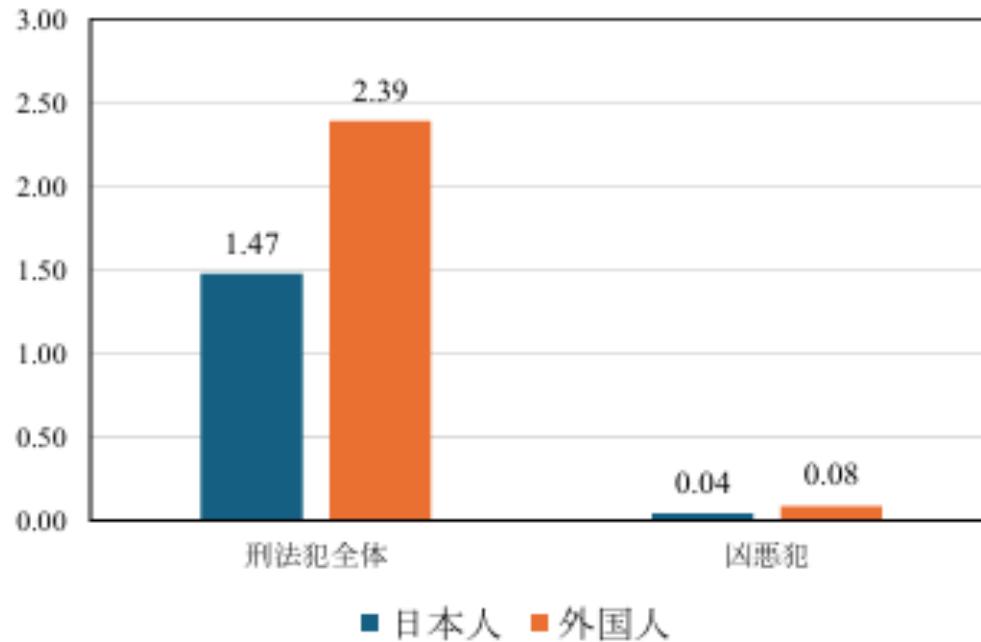


図2 日本人と外国人の犯罪率の比較（対総人口比）

注：単位 人／千人

出所：犯罪統計（警察庁）等より筆者作成

外国人の
犯罪率は
日本人の
2倍？

犯罪率は年齢による差が大きく 日本人と外国人は年齢構成が大きく異なる

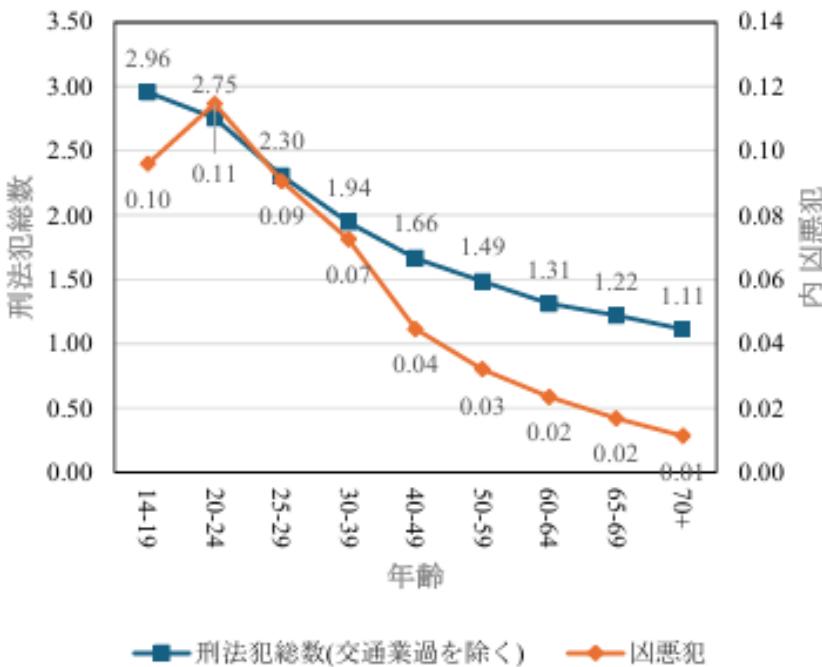


図3 年齢別刑法犯（交通業過除く）犯罪率（日本人）

注：単位 人／千人

出所：犯罪統計（警察庁）等より筆者作成

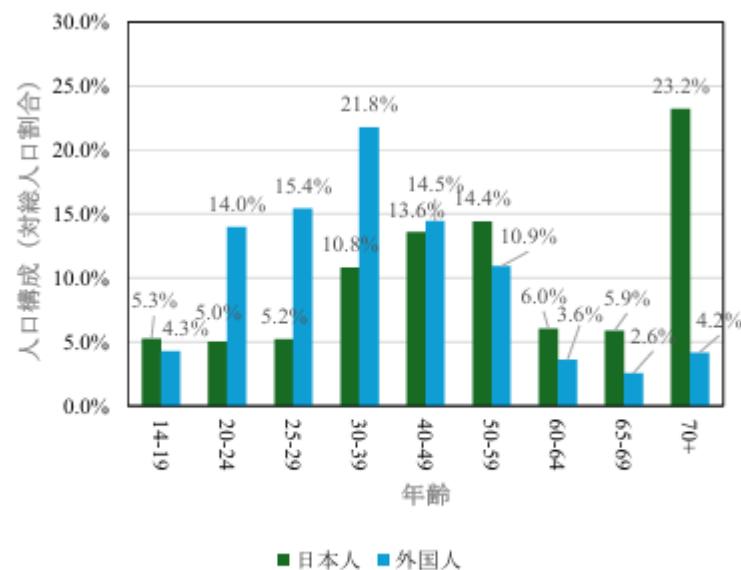


図4 日本人、及び外国人の年齢別人口構成

出所：「人口推計」（総務省）、及び「在留外国人統計」（出入国在留管理庁）より筆者作成

年齢を補正すると 外国人犯罪率は日本人の1.3倍

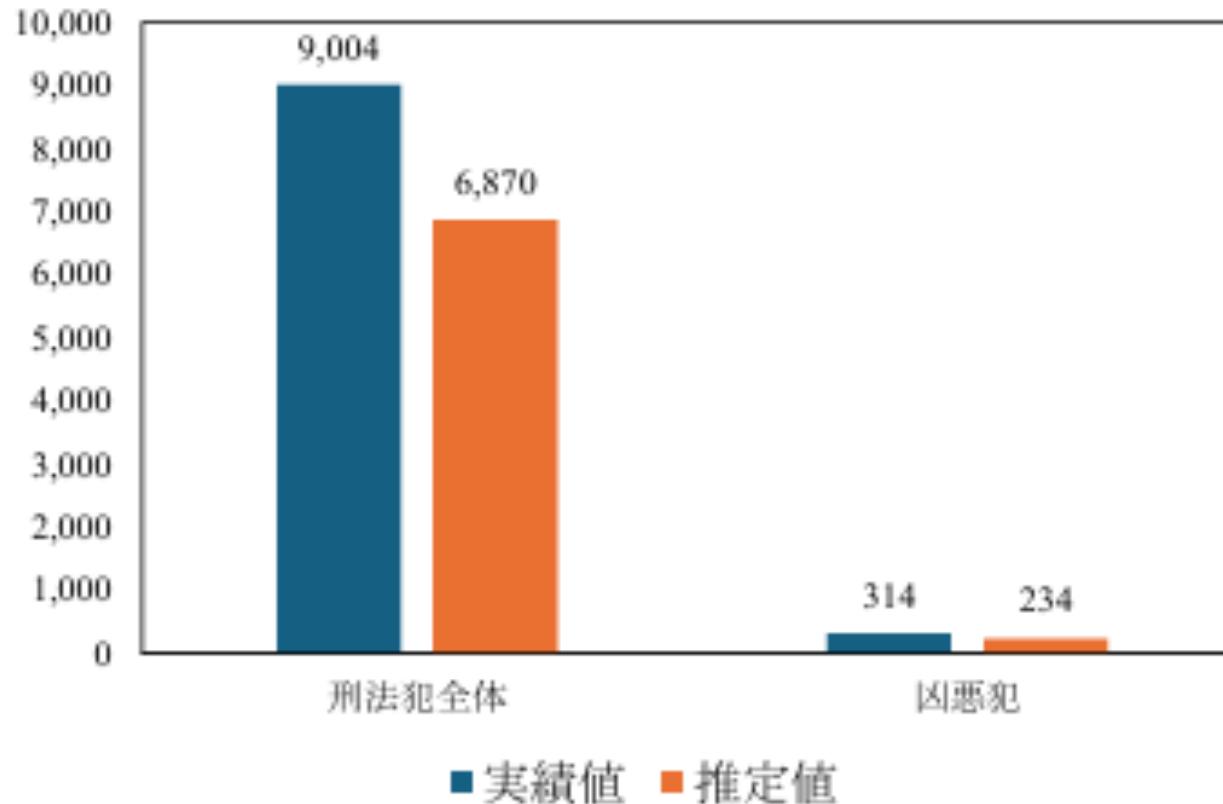


図5 推定検挙人数と実績値の比較

出所：犯罪統計（警察庁）等より筆者作成

犯罪率には地域差も大きく

外国人の多くは都会にいる事も影響

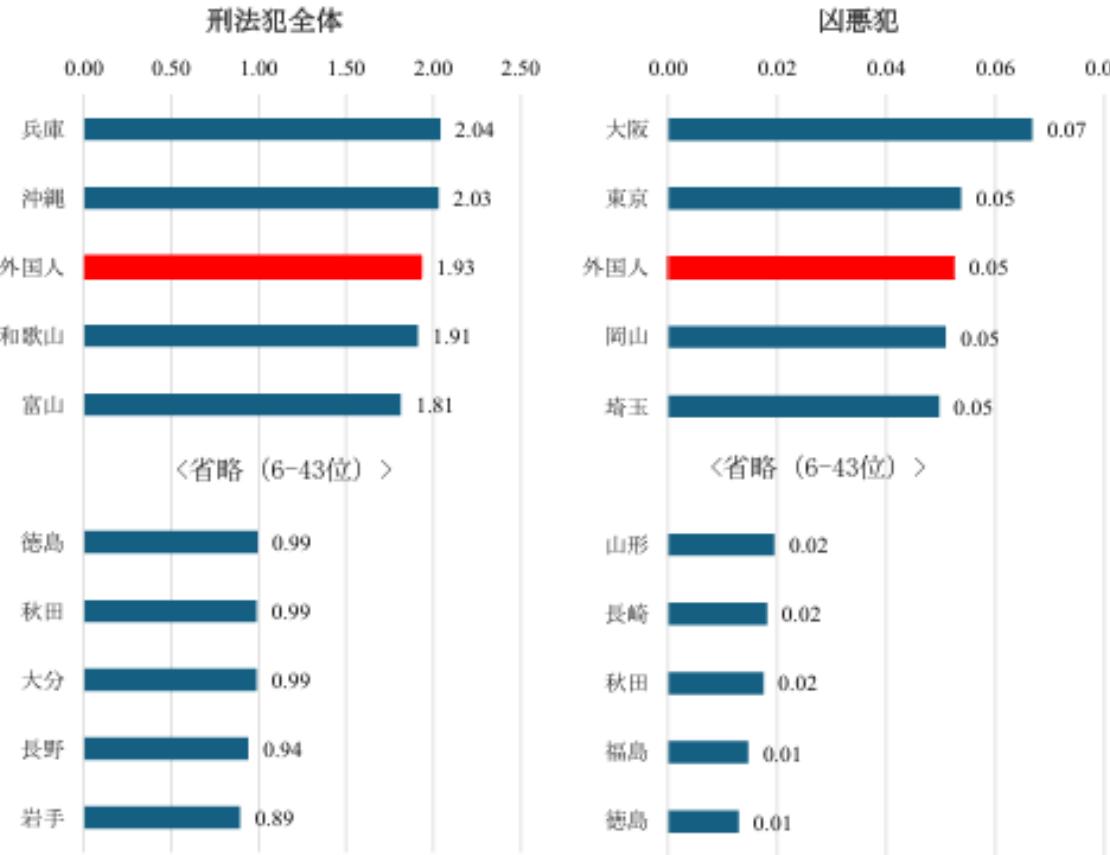
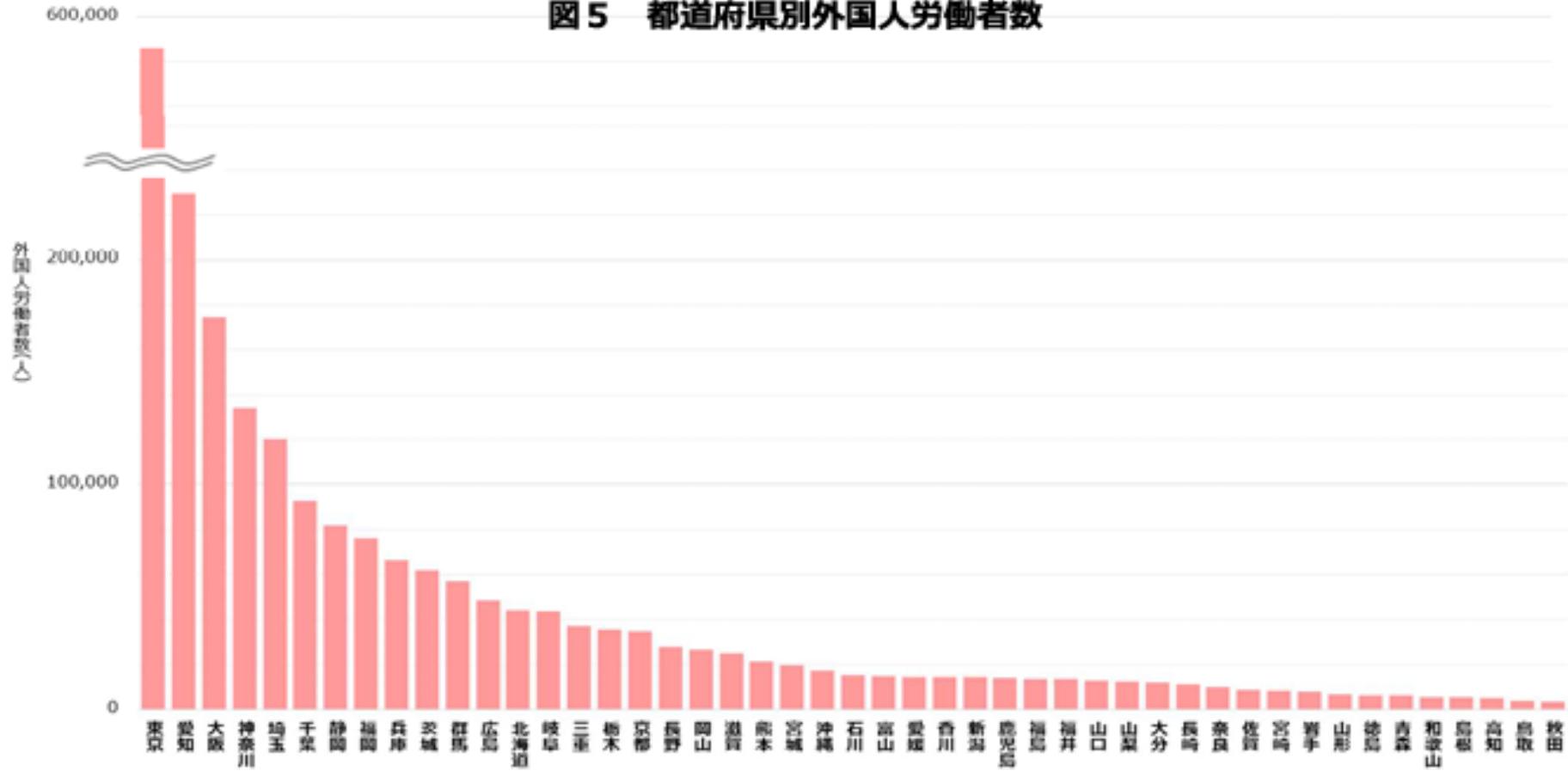


図6 都道府県ごとに見た日本人の犯罪率の違い

注：単位 人／千人

出所：犯罪統計（警察庁）等より筆者作成

図5 都道府県別外国人労働者数

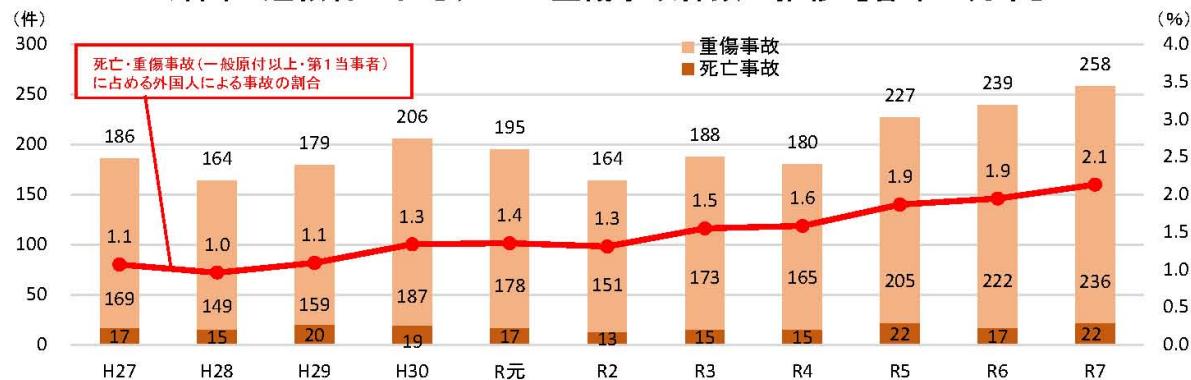


年齢・地域を補正したら
日本人と外国人の犯罪率は
ほぼ変わらないと思われる。

5 自動車～外国人運転者

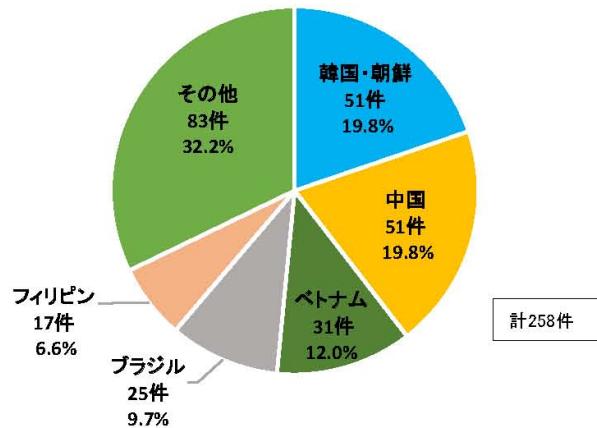
- 外国人運転者による死亡・重傷事故は近年増加傾向
- 国籍(地域)別の構成率は、韓国・朝鮮、中国、ベトナム、ブラジル、フィリピンが全体の約7割

外国人運転者による死亡・重傷事故件数の推移【各年6月末】



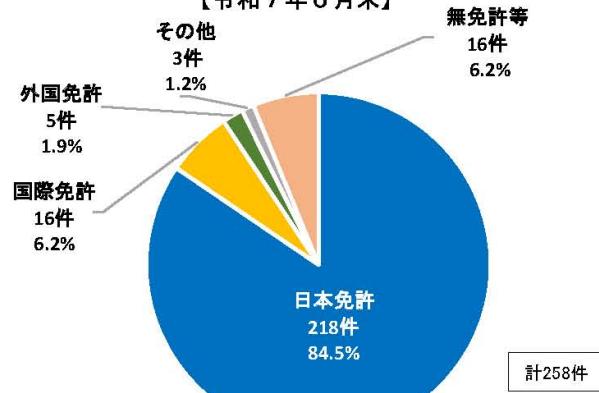
(注)・第1当事者が一般原付以上の外国人(日本国籍以外の者をいい、無国籍の者、国籍不明の者を含む、以下同じ。)の件数である。

国籍(地域)別外国人運転者による死亡・重傷事故件数
【令和7年6月末】



(注)・第1当事者が一般原付以上の外国人の件数である。

運転資格別外国人運転者による死亡・重傷事故件数
【令和7年6月末】



(注)・第1当事者が一般原付以上の外国人の件数である。

・国際免許とは、道路交通に関する条約(ジュネーブ条約)第24条第1項の運転免許証で、条約附属書9又は条約附属書10に定める様式に合致したものという。

・外国免許とは、道路交通法第107条の2に規定される外国運転免許証をいう。

事故率は母数が何かで変わるが、
全人口に対する外国人比率2.9%で、
死亡・重症事故の外国人比率が2.1%
なので事故率も大差ないと思われる

小括

- ・登録外国人／在留外国人数は、昭和34年の60万人から、令和6年の380万人へ6倍に増えているが、刑法犯認知件数は1/4、交通事故発生件数は1/3、交通事故死者数は1/4になっている。
- ・「外国人の増加によって、治安が悪化している、交通事故・交通事故死傷者が増えている」は端的に事実に反する。
- ・外国人の犯罪率・事故率はほぼ日本人と変わらず、外国人犯罪・事故の増加は外国人の増加によるもの。

外国人が居なければ起こらなかつた？

犯罪や交通事故は一定の割合で起こり、ゼロにはできない。「外国人が増えたから外国人の犯罪・交通事故が増えた。外国人が増えなければ犯罪・交通事故は増えないのでから外国人を増やすな」と言う理屈なら、そのまま「日本人が増えたら日本人の犯罪・交通事故が増える。日本人が増えなければ犯罪・交通事故は増えないのでから日本人を増やすな」と言う理屈になり、余りに不合理。

結論

外国人も同じ人間です。
事実に基づく合理的な議論を
しましょう